

#915 施工から進捗管理までスマートコンストラクション®導入



■ ■ 現場詳細 ■ ■ 北海道苫小牧市

土砂が堆積している河川の掘削工事

【施工土量】 36,000m³

【ソリューション】 Smart Construction Dashboard/Smart Construction Fleet

【稼働建機】 PC200i

(掲載月：2024年3月)

生産性・安全性向上に期待し導入



工期短縮 事故リスク低減



■ ■ 導入経緯 ■ ■

(株)小金澤組 土木部 次長 作田啓二さん

今回はICT建機の施工に適した広く開けた現場であり、i-Construction対象の工事だったため、PC200iを導入し作業員を減らして作業効率を上げたいと考えていました。

また、Smart Construction Dashboardで施工進捗を管理することで次の作業計画をスムーズに立てることができ、生産性向上につながるのではないかと考え導入することにしました。

さらに、Smart Construction Fleetを活用しパソコン上でリアルタイムにダンプの動きを確認することによって、安全性の向上にもつながると考え、併せて導入することに決めました。

■ ■ 導入効果 ■ ■

(株)小金澤組 土木部 次長 作田啓二さん

今回、PC200iを導入したことによって作業効率が向上し、工期短縮につながりました。従来施工ではオペレーターと手元作業員4人で行う作業を2人で行うことが可能となり、建機の周囲にいる作業員を削減することができました。建機への接触リスクを減らすことができ接触事故の心配がなくなり、安全性も向上しました。また、従来使用していたバリケードも設置する必要がなくなりました。作業効率の向上によって工期が短縮できたため、悪天候時や作業ができない期間があっても余裕をもって工程を組むことができました。

今後も安全性の向上や工期短縮のため、積極的にスマートコンストラクション®を導入していきたいと思っております。

(株)小金澤組 様

建設業の使命を全うすべく、自然と時代と調和した土木・建築・住宅建築事業を展開し、常に前向きな姿勢と情熱を持ち、高い技術と誠実な施工、そして健全な経営により人々に幸せをとどけてまいります。

<http://koganezawagumi.co.jp/>



土木部 次長 作田啓二さん